

# 茨の道を楽しんで進め

Snaker

就職難、国内海外転勤、  
年功序列や終身雇用の崩壊  
つらい社会に、ヒネクレタ思想

## ビジネスにおける茨の道とは。

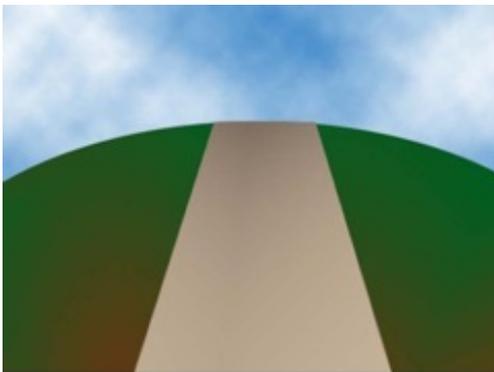
---

茨の道と、平坦な道。  
社会人において、重要な道はどちらでしょう？



ハイリスクハイリターン

前者は、困難な状況や苦難の多い道だが、最短距離であり、リターンも大きい。



ローリスクローリターン

後者は、平坦で何もない道だが、退屈で長距離、ゆえにリターンは少ない。

理想論としては、前者の道、実際は後者の道を選ぶ傾向が多いのでは無いでしょうか？  
また、成功者は、前者の道を通ることが多いそうです。

例えば、サイバーエージェント社長の藤田さんのブログ (<http://ameblo.jp/shibuya/entry-10691046296.html>)

には

「優秀な人材は、自らを厳しい環境に追い込みそれを乗り越えることによって成長していく」とあります。

誰もが達成できそうも無いに対して挑み戦い、長い苦難に打ち勝ち、勝利する。  
これは、とても大変なことです。並大抵の人間ではなしえないことです。  
一部、才能のある人間だけが、出来ることなのです。

そんな誰もが、ヒーローになれるわけじゃありません。

だからこそ、理想論として、社会に出たからには、苦難の道を乗り越えて、それらを克服したときに、最高の達成感と満足感を得られるのだ。

と声高々に語るわけです。

ですが、実際は、このようなことは、一部、才能のある人間だけが、出来ることとわかっているのに、無難な道を選び、リスクを抑えるわけです。

実は、もうひとつ裏道があるんですよ。

今まで、社会人として、この話をしたとき、このような考えをもっている人は限りなく少数でした。ハイリスクハイリターンの茨の道と、ローリスクローリターンの平坦な道があるのなら、

「リターンの大きな茨の道」を以下に簡単に進むか考えるということです。



ローリスクハイリターン

茨を刈り進んでもいいし、除草剤まいてもいい。茨の道を通るリスクを抑えればいいんですよね。

我々は凡人ですので、わざわざ、自らを厳しい環境に追い込むようなことをしなくてもいいんです。

あくまで目的は、安全に早くつくこと、リターンを得ることです。

厳しい環境に身をおくことはありません。

実力で乗り越えなくても、回避できる方法を考えたり、優秀な人を利用して、開拓した茨の道のルートを手に入ればいいわけです。

まあ、ちょっとした言葉遊びですが、重要な考えだったりします。

これは、現状の問題点を改善するということですからね

誠実にまじめに仕事をこなすのも大切ですが、少々ずるく立ち回ることも重要だったりします。